

11/15

Fri

個人型 藤原慎吾 (千代小学校)

共同研究者 森下 孟  
(信州大学 准教授)

## 「子どもが夢中になる授業」

～一人ひとりに合った授業スタイルを目指して～

ある算数の授業の中で、難しい問題に出会った子どもたちは、「このやり方ならできるかな」「〇〇のやり方が使えそう」「これまでやった問題に似ている」と、それまでの学習を手がかりに前向きに取り組んでいました。その姿から、「子どもたちが諦めないで取り組めるのはどうしてだろう」「どこに面白さを感じているのだろう」「少しハードルの高い問題の方が夢中になって取り組めるかもしれない」と考え、応用問題（ジャンプ問題）を用意してみました。すると、同じ視点で考えていたり、同じ課題に取り組んだりしている仲間が集まり、楽しそうに学びに向かっていました。子どもたちは、正解することだけではなく、難しい問題を解こうと試行錯誤したり、友と関わりながら解決に近づいたりしている過程を楽しんでいるように感じました。そう考えたときに、私が表面的な部分しか見ていなかったことに気が付きました。子どもたちの胸の内に楽しく学べるヒントがある、動機付けになるものが隠れているのではないかと考えるようになりました。

私が目指している授業とは当初、個別に学べる環境づくり（学習プリント、補助教材の準備）だと考えていましたが、これまでの子どもたちの様子から個で考えたり、友と考えを共有したりする過程も大事ではないかと考えが変わってきています。共同研究者である森下先生より「対話的な学びをつくるための手立てとしてALACT（アラクト）モデルを活用した振り返り」があることを教えていただきました。ALACT（アラクト）モデルを活用した振り返りから自分の考えを客観的に振り返ったり、友から学んだりしながら自分の考えをより良いものにしていく過程を引き続き研究し、個に合った学びとはなにか、さらに突き詰めていきたいです。



### 共同研究者 森下先生から

小規模校の少人数学級における算数の授業で、一人一人に最適な学びを実践します。ICTの活用と授業中の振り返り、学びの文章化を通じて、算数の理解を深め、児童の言語能力や問題発見・解決能力の向上が期待されます。



### ～日程～

- |                      |             |
|----------------------|-------------|
| ① 受付                 | 13:00～13:15 |
| ② 開会式                | 13:15～13:25 |
| ③ 公開授業               | 13:30～14:15 |
| ④ 授業研究会              | 14:25～15:25 |
| ⑤ 共同研究者の先生によるワークショップ | 15:30～16:30 |
| ⑥ 閉会式                | 16:35～16:45 |

#### 【訂正とお詫び】

vol.135、7頁、千代小学校（個人型）に次の誤りがございました。お詫びし訂正いたします。

（誤）藤原慎吾 （正）藤原慎吾